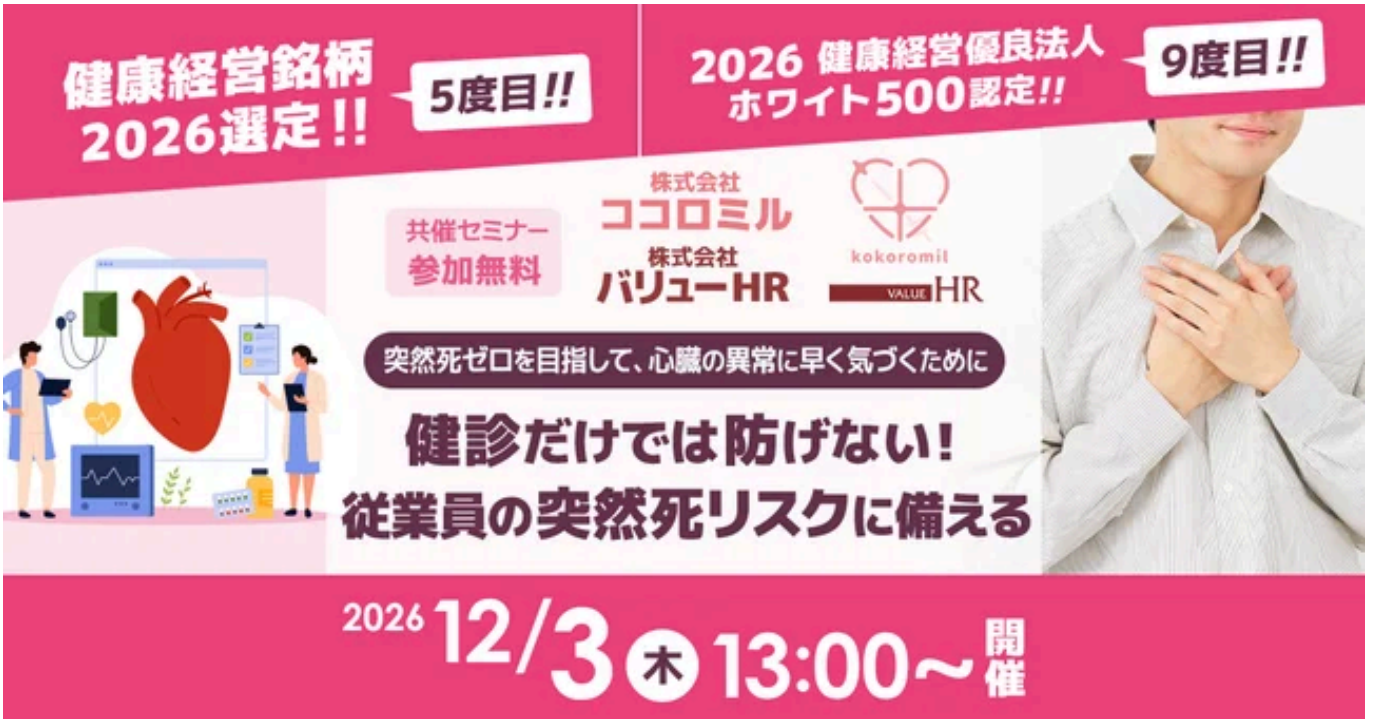
株式会社ココロミル
プレスリリース：2026年11月18日

健康診断の心電図では約9割が見逃される？ 働き盛り世代の「突然死」を防ぐ、次世代の健康経営ウェビナーを12月3日（木）に開催

「健診で異常なし」の裏に潜む心疾患リスクと企業の安全配慮義務。バリューＨＲのプラットフォームで実現する最新予防スキームを公開～

定期健康診断の盲点に警鐘を鳴らし、従業員の命と企業の人的資本を守るための無料オンラインセミナー「健診だけでは防げない！従業員の突然死リスクに備える ～突然死ゼロを目指して、心臓の異常に早く気づくために～」が、2026年12月3日（木）に開催されます（共催：株式会社バリューＨＲ）。

本セミナーでは、多くの企業が実施している健康診断の心電図検査が抱える構造的課題（異常検知率わずか約10%）を紐解き、働き盛り世代の突然死リスクを未然に防ぐ新たな予防医療アプローチと、企業・健康保険組合への具体的な導入スキームを公開します。



■ なぜ今、企業の「心臓対策」が急務なのか（定期健診の盲点）

WHOの統計で世界の死因第1位とされる「虚血性心疾患」。日本国内でも心臓突然死は年間約9.1万人にのぼり、1日に約250人（約6分に1人）もの尊い命が失われています。
働き盛り世代の突然死は、ご本人やご家族にとって計り知れない悲劇であるとともに、企業にとっても「事業の中核を担う人材の喪失」や「安全配慮義務」の観点から、見過ごすことのできない重大な経営リスクです。
しかし、企業が毎年実施している定期健康診断では、心電図の計測時間がわずか**15秒程度**に限られています。日常生活の中で突発的に現れる不整脈などの予兆は、この短時間の安静時検査では捉えきれないケースが多く、**心疾患の異常検知率はわずか約10%にとどまる**という構造的な盲点が存在します。

■ 本セミナーで得られる3つの解決策

「健康診断を実施しているから安心」というこれまでの常識をアップデートし、実効性の高い健康経営・データヘルス計画を推進するための具体的なノウハウを1時間で解説します。

1「健診の盲点」を補完する最新のスクリーニング手法

自宅で9〜24時間の精密な心電図データを計測できる「ホーム心臓ドック®」の技術と、自治体等での実証成果から見えた「隠れ心疾患リスク」の実態を紹介します。

２担当者の運用負担を抑えた導入スキーム

健康管理プラットフォーム『バリューカフェテリア®システム』を通じて、複雑なオペレーションなくスムーズに企業や健保組合へ導入・運用するための具体的なスキームをお伝えします。

３「病気で後悔する人をなくす」ための実践的アプローチ

自身の母親を突然死で亡くした経験から予防医療の普及に挑む、株式会社ココロミル代表・林大貴が登壇し、企業と従業員の双方を守るための新たな健康投資のあり方を提言します。

■ こんな課題をお持ちのご担当者様におすすめです

・毎年の健康診断は実施しているが、重大疾病の予防や早期発見まで手が回っていない
・従業員の年齢層が上がり、心疾患による突然死や休職・離職リスクに危機感がある
・「健康経営優良法人」の認定取得や「データヘルス計画」において、他社と差別化できる実効性の高い施策を探している
・社員の健康管理を強化したいが、人事・健保事務局の運用工数は増やしたくない

■ プログラム内容

【第1部】世界一の死因「虚血性心疾患」の現状と、突然死ゼロへ挑む「ホーム心臓ドック®」

創業背景：「病気で後悔する人をなくす」

心疾患の現状と現行健診の構造的課題

ココロミルの取組みと軌跡

バリューＨＲ社と成し遂げたいこと・今後の方針

【第2部】バリューＨＲを活用した「ホーム心臓ドック®」の導入スキームと期待効果

「ホーム心臓ドック®」のサービス概要

バリューＨＲプラットフォームを通じた導入スキーム

企業における導入効果と健康経営への活用

質疑応答（約10分）

■ 開催概要

セミナー名： 健診だけでは防げない！従業員の突然死リスクに備える ～突然死ゼロを目指して、心臓の異常に早く気づくために～

開催日時： 2026年12月3日（木） 13:00～14:00

開催形式： オンライン（Zoom）

参加費： 無料

対象者： 健康保険組合のご担当者様（保健事業・データヘルス計画）、企業の人事・総務・健康経営・コラボヘルスご担当者様 ※競合他社様のご参加はお断りさせていただきます。

お申込み

URL： https://service.valuehr.com/vc/servlet/question.corporate.QuestionServ/seminar.form?number=20261203

※「健康経営」は、NPO法人健康経営研究会の登録商標です。



登壇講師プロフィール

林 大貴（はやし だいき）｜株式会社ココロミル 代表取締役

1991年熊本生まれ東京育ち。大学在学中に起業し、これまで個人事業主のほか、代表取締役として3社、取締役4社、顧問3社を経験。大学卒業後、父の不動産会社に入社。2017年6月にはカンボジアに不動産開発会社を設立し、社会貢献活動にも尽力。

2021年11月、母親の突然死をきっかけに、「病気で後悔する」人がいなくなる社会の実現を願い、株式会社ココロミルを設立。自宅でできる長時間心電図検査「ホーム心臓ドック®」を通じて、心疾患の早期発見と突然死ゼロの社会づくりに取り組む。

「隠れ不整脈」の発見に一長時間心電図検査サービス「ホーム心臓ドックpro」





ココロミルが提供する「ホーム心臓ドック®」は、自宅で心電図検査ができる検査サービスです。
ユーザーは、小型の高精度心電計を9時間～24時間胸に貼り付け、普段通り生活します。
取得した心電図データは、臨床検査技師が解析してレポートを作成。
1回の検査で、不整脈などの心電図異常や心疾患リスク、睡眠時無呼吸症候群や睡眠の質、ストレスを可視化し、突然死リスクを幅広く検知します。
医療機関レベルのチェックが“自宅で完結”する新しい予防医療ソリューションです。

【ホーム心臓ドックpro製品ページ】
https://homeheart.health/products/homeheart-pro01

■ メディア関係者様へ：取材・インタビューのご案内

本登壇内容や各地での官民連携事例をはじめ、ヘルスケアDXの最新動向について、取材・インタビューを随時受け付けております。

【取材可能テーマ例】

官民連携の現場：自治体が抱える健康課題と、スタートアップが果たす役割

テクノロジー×ヘルスケア：長時間心電図データを用いた「心疾患リスク・睡眠・ストレス」の一括解析の仕組み
働く人の不調予防：健康診断で見逃されるリスクと、自律神経・睡眠データから紐解くメンタルヘルス対策

※解析デバイス（ホーム心臓ドックpro、eclat等）の実物デモ・体験取材、登壇者や代表へのインタビューが可能です。お気軽にお問い合わせください。

問合わせ先
株式会社ココロミル 広報担当
03-5323-0010

株式会社ココロミル

ー「病気で後悔しない社会へ」をミッションに世界から突然死をなくすー

私たちは、自宅にいながら医療機関と同等の本格的な心電図チェックが手軽にできる「ホーム心臓ドック®」をはじめとする各種事業を展開しています。
長時間のデータ取得により、これまでの健診や人間ドックでは見逃されがちだった心疾患リスクも早期に“見える化”し、突然死などで「今まで救えなかった世界で1億人の命を救う」ことを実現します。

また、取得したデータを通じて、多くの方々が自分自身や家族の健康状態を可視化し、健康寿命やQOL（クオリティ・オブ・ライフ）を向上させることを目指しています。

代表取締役社長：林 大貴
所在地　　：〒101-0032 東京都千代田区岩本町2-1-18 フォロ・エム8階
設立　　：2021年11月
事業内容　　：ヘルスケア及び臨床研究事業
提供サービス　：〈個人向け〉不整脈、睡眠時無呼吸症候群 (SAS)、睡眠の質、
　　ストレスの兆候を心電計を使って可視化する「ホーム心臓ドック®」
〈医療機関向け〉使い切りホルター心電計「eclat」
〈医療機関向け〉動物医療心電図モニタリング、ホルター検査

製品名：eclat（エクラ）
一般的名称：長時間心電用データレコーダ
医療機器クラス分類：管理医療機器（クラスⅡ）、特定保守管理医療機器

主要許認可・認証等：
第二種医療機器製造販売業（許可番号：13B2X10584）
医療機器製造業（登録番号：13BZ201797）
高度管理医療機器販売業・貸与業（許可番号：5新保衛薬第162号）
ISO 13485:2016 認証取得

HP　　：https://kokoromil.com/

d98284-156-b00820064aa9bc51f4769ef1af6281b2.pdf

当プレスリリースURL
https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000156.000098284.html
株式会社ココロミルのプレスリリース一覧
https://prtimes.jp/main/html/searchrlp/company_id/98284

【本件に関するお問い合わせ】
株式会社ココロミル 広報担当
03-5323-0010